

広島緑を考へる講演会
「街路樹の樹冠最大化で都市が変わる」
実施報告書

1.実施概要

開催日時	平成30年1月24日(水) 15時00分～17時00分
開催場所	アークホテル広島駅南 広島市南区
講師	千葉大学名誉教授 藤井英二郎 様
主催	一般社団法人広島県造園建設業協会 一般社団法人広島市造園建設業協会 一般社団法人日本造園建設業協会広島県支部 一般社団法人日本造園組合連合会広島県支部
後援	国土交通省中国地方整備局 広島県 広島市
参加者	200名

2.進行概要

14時30分	受付開始
15時00分	開会 主催者代表挨拶 後援者代表ご挨拶 来賓紹介 講師紹介
15時15分	講演
15時40分	後援終了・質疑応答 閉会挨拶
17時00分	閉会

3.講演概要

14時30分より受付をはじめ、15時の開会時には満場の参加者を得ることができました。冒頭に主催者を代表して一般社団法人広島県造園建設業協会 正本会長より、参加者への御礼と講演の骨子等の説明を加えた挨拶があり、続いて後援者を代表して、国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課 貞任課長様より、行政の立場から街路樹を取り巻く状況と環境整備の重要性等に触れた挨拶をいただきました。その後に来賓のご紹介を以下の順序でおこないました。

広島県議会議員 佐々木 弘司 様
広島市議会議員 藤田 博 様
国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課長 貞任 俊典 様
広島県都市建築技術審議官代理 広島県土木建築局 下水道公園課 長谷川 寿男 様
広島市都市整備局緑化推進部 部長 工藤 昭利 様

次に司会者より講師の略歴等の紹介がおこなわれ講演開始となりました。(講演レジュメ別添)
講演の内容は、以下の項に章立てられていて、研究データに裏付けされた実践的な技術提案と情報提供をおこなっていただきました。

- (1)日本の街路樹に一般的な強い抑制剪定と建築限界下の枝
李御寧『縮み志向の日本人』
- (2)強い抑制剪定の樹木への影響
樹勢悪化・枯死：倒伏危険性の増大、社会資本の短命化
根の成長抑制・支持力低下⇒倒伏危険性の増大
倒伏危険性診断の課題
- (3)都市環境の変化と既存街路樹の樹冠拡大の必要性
コンクリート構造物の増大とヒートアイランドの激化、地球の温暖化
樹冠拡大による日射抑制、ストレス緩和、景観改善
防災機能強化
- (4)大きな樹冠が維持されている国・都市・地域
欧米・中国・韓国、仙台市、江戸川区、田園調布、(宇部市、豊橋市)
- (5)剪定以外の課題：過剰支柱、植栽基盤の悪さ
- (6)東京の街路樹の推移と戦後の変化、近年の道路構造令改正
- (7)樹冠最大化のための体制・技術

16時40分講演終了。司会より質疑応答の呼びかけをおこないました。3題質問がなされ、藤井講師より丁寧な回答をいただきました。アンケート等での質問も後日回答する旨のアナウンスも行いました。

16時57分質問を締め切り、主催者 一般社団法人日本造園組合連合会 山岡広島県支部長から講師・後援・参加者・関係者の方々への御礼の意を込めた閉会の挨拶をいただきました。17時00分多くの方々の方々の協力の下、講演は無事終了いたしました。

17時20分より別途、交流会も約80名の参加を得て実施いたしました。様々な意見が交流会参加者の間で交わされ盛会の内に終了しました。

